

# 夫より怖い!

# DV義父

「高齢者は「加害者」だ。それは家庭にも及んでいる。「高齢者は何をしても許さる」と、トには、こんな書き込みが後を絶たない。

## 介護施設でのストレスを家庭で爆発させる

Aさん(50)は、妻(48)から顔の青あざを見せられたことがきっかけで、義父(82)をデイサービスから連れて戻ると、脇がせたまわい、きなり殴られたという。義父は1年前、軽い脳卒中を起こし、半身にマヒが残った。言葉も不出た。リハビリの最中、今度は玄関で転んで片足を骨折。寝たきりの時間が増えた。

妻の外出時は、デイサービスに預ける。それは義父も納得済みだ。利用も10回を超えた。協調性のある性格だから、周りともうまくやっていると思っていた。

「Yの野郎」  
「義父をただすと、そうつぎやいた。Yとは、同じ施設に通う85歳の男性だ」と、後で分かった。自分の思い通りに動かない上、介護施設での集団生活にも馴染めない。

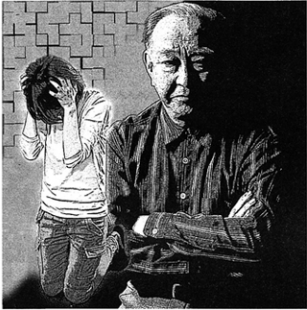
職員とも合わない、女性をめぐるとのいざこざ、入所期間の長短による派閥争い……。それらのストレスを、家庭で爆発させる。これが老人DVの典型だ。

計ですが、高齢者の3分の4割は、家族何らかの暴力を振るっている。暴力には違やかな紳士だと思われているけど、家庭で凶暴になケースが多い。特に70と80代は、30と40年前と比べて肉体的にも弱く、パワーがある。非力な嫁や孫が暴力を振られると、Vの典型だ。

計ですが、高齢者の3分の4割は、家族何らかの暴力を振るっている。暴力には違やかな紳士だと思われているけど、家庭で凶暴になケースが多い。特に70と80代は、30と40年前と比べて肉体的にも弱く、パワーがある。非力な嫁や孫が暴力を振られると、Vの典型だ。

「おじいちゃん、何して孫にしたいなめられる。おじいちゃん、何して孫にしたいなめられる。おじいちゃん、何して孫にしたいなめられる。おじいちゃん、何して孫にしたいなめられる。」

## 今や老人は「加害者」だ



「夫の親だから……」  
Aさんの妻のように、義父から暴力を受けたことを夫に相談するならば、まだいい。ところが、どこかに遠慮が生まれ、義父をマメに取る。仕事一辺、これが唯一の方法です。「おまえが黙って」と職員に聞いてみる。不定期にデイサービスを利用するならば、必ず事前に公は最近どんな体調です。と言つ、妻は、「今日はこんな様子だっけ」と毎日聞いてあげ、これを怠ると左めがけ始める。向に、夫婦、親戚が嫌われてしまった家族実いる義父を抑えるために、ベツベツに縛りつけたりする。

「飛び降り、仕て濡れた床を掃除する時の精神的苦痛は、計り知れない。老人がりに走るのは体調の異変がきっかけ。心と力やがシクシク、男性入所者、暴力に走る。直腸がんの手術を受けてたYさん(43)の父親(T)は、足腰が弱り床に置いて重い物が持てなくなつてしまつた。あの日、益我の体が持つてないのが悔しくて、全部倒して壊してしまつた。」